

みんなの ひろば

子どもの主張発表会最優秀賞受賞
 共栄小学校6年生 木村智哉くん
 雄武中学校2年生 平田 恵さん
 子どもたちが思いを主張



雄武町子ども育成会が主催する、第33回子ども主張発表会が1月20日(日)、雄武町民センターで開催された。各学校を代表する小学生18名、中学生6名が、日常生活を通じて感じていることや社会に対して訴えたいことをテーマに主張を発表。論旨・表現・態度の観点から有識者により最優秀賞・優秀賞・佳作が選出された。

児童会活動」と題し、児童会長として工夫したことや活動を通じて感じた喜びを主張。「すごく緊張したけど、練習のときよりもうまく発表できたと思います。児童会長になってから、一番がんばっていることを発表できて良かったです」と笑顔を見せる。「中学校に入学したら、生徒会活動のような、みんなのためになることに取り組みたいです」と今後の抱負を話してくれました。

雄武町子ども育成会の真田一三会長は「意思を伝えるということは、社会に出て最初求められるとても大切なことです。大勢の人が見ている中、壇上で発表した経験を通じて、子どもたちが成長してくればと思います」と期待を込めた。

クローズアップ
 まちのひと

日々の業務に考えを持って

雄武自工有限会社勤務 増田 かい海 さん



「自分を育ててくれた雄武町で働き、生活していきたくて思っています」と話す増田海さん(19歳)。昨年3月に雄武高等学校を卒業し、雄武自工有限会社に就職した。「主な業務は処理施設に運ばれてきたさまざまなゴミを処理することです。ただ作業免許を持っていないので、重機を扱う仕事はできないのですが、生ゴミだと機械を使った堆肥の選別、資源ゴミだと材質ごとに重機へ積み込んで、倉庫に運びます。最初は言われた仕事をやっていくだけで一杯でしたが、だんだんと工夫できることがないかと考えながら業務に取り組むよ

うになりました」と向上心を持って日々の業務に励んでいる。「最近、夢中になっていることは自動車の部品を自分で交換することです。簡単な所からやり始めたばかりですが、自分で作業するのは面白いですね」と笑顔を見せる。

今後の目標について「ゴミを処理する機械に不具合が起きた場合の対処など、まだまだ上司に助けをもらうことが多いので、少しずつ自分で解決できるように成長したいです」と意気込みを話してくれた。

好きな女性のタイプ
 たれ目の人

小さな美術館

幌内小学校



古山 世奈さん(6年)



高野 和花さん(6年)



加藤 瑞葵くん(5年)



新山 純介くん(5年)

わんぱくキッズ

おおきくなったら
 ~若草保育所~



かさはら
りくくん



いがらし
ももちゃん



さわだ
かずまくん

ビザヤさん

おひめさま

ハイパーレスキュー隊